

芸術実験 第5回

『旧朝倉市役所』

2026.2.28(土) - 3.8(日)

10:00-17:00(入場16:30まで)、期間中無休
旧朝倉市役所〒838-0061 朝倉市菩提寺412-2
チケット:一般800円(高校生以下無料)

そこで、なにがおきるだろう？
かつての市役所庁舎が
美術館になる、
さいごの9日間。

1973年に建てられた市庁舎は、長きにわたり、朝倉市民の生活を支える拠点として機能してきました。地下1階、地上5階の市庁舎は、随所に昭和のニュアンスが残る、味わい深い建物です。市民の生活と共に時を重ねた空間が、単に取り壊されるのではなく、アーティストにより素晴らしい作品となり、地域での新しい対話のきっかけとなることを目指します。

展示場所:

議場
市長室
政策監理官室
執行部控室
議会応接室
301会議室
応接室
エントランス
ロビー
外階段
外掲示板 ほか

アーティスト: (*招待作家)

花原 正基*
前田 哲明*
山川 公丈*
大庭 実華
柏木 菜々子
上手 勇輝
久保田 済美
佐貫 巧
高倉 優仁子
谷尾 勇滋
David Atwood
寺本 幸弥
宮野 英治+古賀 博

朝倉市制施行20周年記念事業



第5回芸術実験「旧朝倉市役所」

「アートって面白い」と思う人もいて、「アートって分かん」と考える人もいる。色んな感じがあるけれど、最初から遠ざけるのではなく、ちょっと覗いてみる……「あら、意外と面白いね」なのが「やっぱりわからんね」なのかわからない。でもそれでいい。世の中の色々な多様性を認めたら、もっと地域は素敵になる。あちこち地域が素敵になったら、社会が豊かになっていく……。そんな可能性をアートから考えてみたい。普段と違う発想やココロモチを持つことを愉しんでいただけたらと思います。——芸術実験準備室

大庭 実華 Ohba Mika

造形作家。福岡市出身／在住。古新聞で「情報と時間の流れ」「自然」を表現しています。新聞を広げて重ね断裁し、立方体に固定したパーツを捻りながら床に並べた作品。一貫して1992年制作「リサイコロ」の形状「水平・垂直・○」で空間構成しています。今回は市制施行20周年にあたり、2006～2026年の新聞で朝倉市の時間の流れ・風物詩・自然を表現します。



柏木 菜々子 Kasiwagi Nanako

日本画家。1977年千葉県生まれ、福岡県在住。その土地ならではの時間が堆積したような風景と、今を生きる動物たちを組み合わせ、日本画を描いています。これまでとこれから、色褪せぬ岩絵具に想いをこめて。旧甘木動物病院「ノアの方舟—動物病院物語—」、JR九州「かんぱち・いちろく」車内アート、星乃珈琲店絵画コンテスト準グランプリ、個展等。

前田 哲明 Maeda Noriaki (招待作家)

現代彫刻作家。東京都出身、福岡市在住。おもに鉄を素材としたサイトスペシフィックな彫刻および、インスタレーションを制作。1997年に文化庁在外派遣により1年間、その後2002年までロンドンに在住。これまで作品を制作するなかで、素材と空間の距離感、そして自分自身の意識に宿る身体性は切り離せないファクターであった。私にとって、身体性とは記憶の痕跡を作品へ投影しながら自己と空間の関係を可視化することであり、それは制作における根源的な営みでもあった。さらに空間との距離感を見出すことにより、作品を通じて初めて自分自身の意識に立ち返ることに収束する。



宮野 英治+古賀 博 Miyano Eiji + Koga Hiroshi

宮野(美術家):「人間とは何か」という根源的な問いに対し、思索、表現を繰り返す。個と集団、個と個、己と他者の関係性を作品化して見つめ直す。古賀(アスクラクリエイター):朝倉市に根差し、朝倉の場所・人・ことの魅力を見つめ、アーティスティックな視点で情報の発信を行う。今年は朝倉市制施行20周年ということで、時間・人・場所に焦点を置き、朝倉市の「これまで」「今」「これから」について考えられるような展示としたい。



高倉 優仁子 Takakura Yuniko

朝倉市在住。食表現。自然の力による環境の変化の痕跡の中で、存在のかたちを探り、問いを重ね続けている。初めての公的なアートの場となる今回は、経験を通じて感じた「自然への敬意」と「生かされているという感覚」を、空間と時間、そして食の、展示とパフォーマンスで表します。



寺本 幸弥 Teramoto Sachiya

私はこれまで人体を主題に制作を行ってきました。人体のポージングやボリュームといった物質的な側面に加え、周囲の空気感や残された気配、体温のような要素から物としての身体性を見出し、彫刻における動きを視覚的表現にとどめず、その前後の時間や作用をも含んだ形として提示したいと考えています。



花原 正基 Hanahara Masaki (招待作家)

ビジュアルアーティスト／クリエイティブディレクター。朝倉市出身。2019年に渡米後、2021年にニューヨークにてデザインファーム「SOAR NY」を設立。2025年にはニューヨーク市からの委託により、ブルックリンDUMBO地区で大規模なパブリックアートを制作。



佐貫 巧 Sanuki Takumi

画家。1982年静岡県生まれ。佐賀県武雄市在住。現在、佐賀女子短期大学こども未来学科 准教授。東京藝術大学大学院美術研究科油画専攻修了後、同大学で教育研究助手を務める。2023年4月、活動拠点を佐賀に移す。本展覧会では、朝倉市役所の「議場」を会場に『蚊帳の外』というテーマでインスタレーションを展開する。



上手 勇輝 Kamite Yuki

2004年広島県生まれ。九州大学芸術工学部未来構想デザインコース在籍。アナログとデジタル両方の電気的手法を用いながら、作品制作を行なっている。作者自身も操作し得ない揺らぎの構築に関心を持ち、自然や社会の中で繰り返されるリズムの観察を手がかりとして制作に取り組んでいる。



久保田 済美 Kubota Seibi

画家。1934年久留米市に生まれる。幼少より芸術家を志し、ひたすら絵画を探索する。佐賀大学特設美術科1期生。制作は具象抽象問わず多岐に渡り、福岡県内や東京で100回以上個展開催。



David Atwood

アーティスト。モントリオール、カナダ出身、長崎市在住。私の作品は、身体と場所、連続性と終結性、経験と記憶の間のつながりと断絶を探索しています。私が始めた場所と現在いる場所は、直線的な線で結ぶことが難しいものです。何が記憶されるべきで、何が忘れ去られるべきなのか?どの側面が一時的で、どの側面が永久的なのか?私の作品は、内面を探索し、外面とつながることを意図しています。絵画とドローイングの物理性と触覚性は、身体を刺激します。私の立体作品に使用される発見されたオブジェクトは、私の環境——異国的なものから日常的なものまで——と関わり合っています。



山川 公丈 Yamakawa Kimitake (招待作家)

1949年、大分県別府市生まれ。高校時代に美術部へ入部したことをきっかけに油彩を始める。大分県美術展などに出品し受賞を重ね、21歳のとき中央二紀展に初出品し入賞。その後、大阪で商業デザイン会社に勤務し、地元大分へ戻ってからは設計事務所を設立。建築や商業施設の設計に携わる一方、画家としての活動も続けてきた。作品のテーマは、人生をアイロニカルな視点から俯瞰的に捉えること。伝統的な絵画手法にとらわれず、変形キャンパスの使用や、非日常・非常識を貫いた独自の表現を追求している。



旧朝倉市役所 Old Asakura City Hall

旧朝倉市役所本庁舎は、1973年1月に旧甘木市役所庁舎として竣工し、2006年の市町村合併以降は朝倉市の本庁舎として、長年にわたり市民に親しまれながら地域行政の中心を担ってきた建物です。半世紀近くにわたり市民の暮らしを支え、まちのさまざまな節目を見届けてきました。老朽化に伴い、新庁舎への移転が決定しました。



谷尾 勇滋 Tanio Yuji

現代美術家。広島県尾道市生まれ、福岡市在住。写真作品及び写真を使った現代アート作品を制作。写真というメディアでの新たな表現の可能性について関心を持ちながら、変容や特質、記憶や時間・場所(環境)といった事柄をキーワードに、都市や地域の土地の歴史や文脈について探求。近年はこれまでのテーマを踏まえ、風景・景観の問題を主体とした作品に取り組んでいる。

関連イベント 詳しくは Instagram: @geijutsujikkenをご覧ください。

えがこう! #あさくらの記憶と未来地図

2006年の市町村合併以来、朝倉市の本庁舎として使われてきた旧甘木市役所庁舎。1973年に誕生し、多くの人に親しまれてきたこの建物は、50年以上の歴史に幕を下ろし、令和8年に新庁舎へと機能を移します。市民とともに歩んできたこの空間に、あなたのメッセージを描き残してみませんか？

テーマは「わたしの好きなあさくら」、「これからこんなあさくらがみたい」。建物への“ありがとう”や、未来への“夢”を、自由に表現してください。

2026年2月28日(土) — 3月8日(日) 10:00 — 17:00 / 場所: 会場3階エレベーター前

どなたでも参加可能です。持ち物不要(マジック・クレヨン等はこちらで用意しています)。

🗨️ オープニングトーク 2026年3月1日(日) 14:00 — 15:30 / 場所: 会場4階 議場

地域開催のアートイベントのこれからについて、参加アーティストと共に考えるトークセッションです。

参加お申し込みは、芸術実験インスタグラムアカウントまで。／進行: 関岡 絵梨花(キュレーター)

チケット

一般800円(高校生以下無料) 当日受付にてご購入ください。gallery cobacoにて事前販売も行っています。

最新情報 / instagram



芸術実験
@geijutsujikken



gallery cobaco
@gallery_cobaco

アクセス 旧朝倉市役所 〒838-0061 朝倉市菩提寺412-2



車: 甘木ICより約10分 駐車場有

公共交通機関: 甘木営業所(バス)より徒歩5分

甘木鉄道甘木駅より徒歩22分、西鉄甘木駅より徒歩20分



Google Map

主催: 芸術実験準備室+gallery cobaco / 運営: 秋重久美子、ボランティアメンバー

後援: 朝倉市、朝倉市教育委員会、あさくら観光協会、朝倉商工会議所、一般社団法人福岡県地方自治センター

アーティスト公募審査員: 長津結一郎(九州大学 大学院 芸術工学研究院 准教授)、福岡加容(九州産業大学美術館 学芸員)

Photo: Shum Kwok Hei / グラフィックデザイン: 須藤史貴、宮垣貴宏(anno lab + minamo design)

お問い合わせ: gallery cobaco Web: www.gallerycobaco.com Tel: 0946-22-3490 定休日: 火・水・木

協賛 (敬称略)



未来のビンテージビルを創る。

space R design

株式会社スペースRデザイン

Audi 正規ディーラー

Audi 久留米

Audi 久留米

観光プラザ

ほとめく館

あさくら観光協会(印刷物協賛)



浦田庭園
設計事務所
株式会社

浦田庭園設計事務所株式会社



株式会社倉掛設計事務所
KURAKAKE DESIGN OFFICE Co., Ltd

株式会社倉掛設計事務所



sososya

想創舎(株)手嶋組



NAGANO
INTERIOR

ナガノインテリア工業株式会社



原鶴温泉

Harazuruonsen Ryokan-Kyodo-kumiai

原鶴温泉旅館協同組合



YAMADA
DIGESTIVE ORGAN &
GASTROINTESTINAL
CLINIC

やまだ消化器科内科クリニック



天ぶら 七八 夢ごちらくや



Ponteクラシックギター教室

株式会社敬愛、岩村英臣、

あさくら税理士法人、朝倉盛上隊、阿さひ鮎本舗菓藏家、(有)甘木白蟻、

甘鉄エージェンシー(株)、(株)泉組、株式会社桑野商会、株式会社アサクラノート、

(有)チェック保険サービス、株式会社西日本シティ銀行久留米営業部、

株式会社福岡銀行東久留米支店

えがこう！

あさくらの記憶と未来地図

平成18年の市町村合併以来、朝倉市の本庁舎として使われてきた旧甘木市役所庁舎。昭和48年に誕生し、多くの人に親しまれてきたこの建物は、52年の歴史に幕を下ろし、令和8年に新庁舎へ機能を移します。市民とともに歩んできたこの空間に、あなたのメッセージを描き残してみませんか？テーマは

「わたしの好きなあさくら」

「これからこんなあさくらがみたい」

建物への“ありがとう”や、未来への“夢”を、自由に表現してください。

大人も子供も
参加OK！

【芸術実験ワークショップ開催概要】

期間：2026年2月28日（土）～3月8日（日） 10:00-17:00

場所：旧朝倉市役所本庁
3階エレベーター前
（朝倉市菩提寺412-2）

内容：「あさくらの思い出」や
「未来のあさくら」を
自由に壁に描こう！



写真協力:福岡県立朝倉高等学校美術部

★高校生以下:参加無料

★大人:第5回芸術実験のチケットが必要です。

※現地受付にて800円でご購入いただけます。

★持ち物不要（マジック、クレヨン等はこちらで用意しています。手ぶらできてください。）

問い合わせ:芸術実験準備室

電話 (0946) 22-3490

※gallery cobaco営業時間内

Instagram @gallery_cobaco

@geijutsujikken